Creative Enzymes®

大腸菌由来グルコキナーゼ、組換え

Cat. No. NATE-1571

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	グルコキナーゼ (EC 2.7.1.2) は、グルコースをグルコース-6-リン酸にリン酸化するのを助ける酵素です。グルコキナーゼは、ヒトやほとんどの他の脊椎動物の肝臓、膵臓、腸、脳の細胞に存在します。これらの各臓器において、グルコキナーゼはグルコースセンサーとして機能し、食事後や断食時に見られるようなグルコースの上昇または下降に□じて代謝や細胞機能の□化を引き起こすことによって、炭水化物代謝の調節に重要な役割を果たします。この酵素の遺伝子の□異は、異常な形の糖尿病や低血糖を引き起こす可能性があります。
別名	EC 2.7.1.2; グルコキナーゼ; グルコキナーゼ (リン酸化); 9001-36-9; GCK; FGQTL3; GK; GLK; HHF3; HK4; HKIV; HXKP; LGLK; MODY2

製品情報

種	大腸菌
由来	大腸菌
形態	3.2 M 硫酸アンモニウム
EC番号	EC 2.7.1.2
CAS登□番号	9001-36-9
分子量	35 kDa
純度	> SDS-PAGEによって判断された95%
活性	5.8 U/mg タンパク質、98.6 U/ml。
最適pH	7.5
最適温度	25 °C
特異性	グルコース

保管・発送情報

保存方法	グルコキナーゼは4°Cで保存する必要があり、これらの保存条件下で最大3年間安定しています。